



広装協 NEWS

2025年2月 19号(通巻86号)

広島県室内装飾事業協同組合

〒733-0003

広島市西区三篠町1丁目7番4号

TEL 082-239-9281 FAX 082-239-9282

URL <http://hirosokyo.jp>

発行責任者 広報・渉外委員会委員長

蓑田浩士

年頭ご挨拶



理事長・(株)マルケン装飾

岡田展政

令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、能登半島地震、豪雨災害と悲惨な自然災害が発生いたしました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。また、夏には異常な猛暑を記録いたしました。改めて自然の恐ろしさを感じさせられとともに温暖化対策について小さなことでもできることを始めなければならないと感じた1年でありました。

昨年の景気は緩やかな回復基調と新聞には書かれておりましたが、我々の業界を取り巻く環境は厳しい状況にありました。しかしながら、組合員の皆様のご協力とご尽力により、多くの事業を実施でき課題解決に向けて前進することができました。せっかくの機会ですので各委員会でも実施した昨年の事業を披露させていただきます。

- 総務委員会では 総会、永年勤続従業員表彰の実施、親睦ゴルフ大会の開催、新年互例会の開催そして組合員の実態調査の準備に取り組みました。
- 教育情報委員会では、技能検定実施の協力と技能検定トライアルを実施致しました。昨年、厚生労働省の社内検定制度に認定されました日装連インテリアデコレーター資格試験を中国ブロック会各県と協力しまして実施致しました。そして現在も進行中の技能者育成動画の下地処理編を作成中であります。こちらは完成しましたら技能者育成に活用して頂きたいと思っております。

- 事業委員会では、広島県職業能力開発協会様主催のひろしま技能フェアに参加しまして我々の仕事を多くの子供たちや一般の方に知って頂くことができました。また今回、初の試みでしたが組合員向けの新入社員研修を開催しました。内装仕上げ材とカーテンの基礎知識の研修会で、若手社員の技能向上と定着に大きく寄与できる研修会でありました。

- 広報渉外委員会では、ホームページを活用して我々の業界に関連する法律の改正などのアナウンスに取り組み、フリーランスとの取引に関する法律についてホームページへ掲載いたしました。また、こちらの委員会では昨年12月に国土交通省中国地方整備局建政部様との意見交換会に出席させて頂きました。国土交通省様の建設業界への取り組みについて大変詳しくご説明を頂きました。今後も継続させて頂きたいと思っております。

青年部会も工業高校への出張授業の実施など活発な活動をしております。

これらの昨年の事業につきまして、行政、関連団体の皆様、賛助会員の皆様そして理事と組合員の皆様、事務局のご協力に改めて感謝申し上げます。次第でございます。本当にありがとうございました。

さて、本年も我々の業界にとりましては厳しい環境になると思われませんが、何事もピンチをチャンスとしてとらえて課題解決につとめて参りたいと思っております。

今年は蛇年でございます。蛇のように脱皮をしまして成長し飛躍できる1年として行きたいと思っております。今年も「広装協の魅力アップ」をテーマに、業界の発展と地域社会への貢献を目指して邁進してまいりたいと存じますので、どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年 新年互礼会開催

組合では去る1月17日（金）午後6時から、ANAクラウンプラザホテル広島にて、令和7年新年互礼会を開催しました。

互例会は中島祥治副理事長の司会進行で始まり、岡田展政理事長の挨拶の後、自由民主党の平口洋衆議院議員夫人のさとみ様、国交省中国地方整備局の田宮庸裕建政部長から祝辞を頂戴し、広島県職業能力開発協会の新山信夫専務理事に乾杯ご発声をして頂きました。また広島県中小企業団

体中央会の赤羽政哉主事にもご臨席を頂きました。

今年は親会、青年部会合同開催という事で、青年部会から役員のみならず部会員も数多く出席されました。和やかな歓談のあと、賛助会員、卸組合員（メーカー）計15社の方々に順次挨拶を頂き、また青年部会の世良部会長及び部会員から挨拶がありました。

最後は、池田君美副理事長の中締め挨拶と三本締めで新年互礼会は無事終了しました。



司会進行：中島祥治副理事長



開会挨拶：岡田展政理事長



ご祝辞：自民党
平口洋衆議院議員ご夫人
平口さとみ様



ご祝辞：中国地方整備局
田宮庸裕建政部長



乾杯ご発声：広島県職業能力開発協会
新山信夫専務理事

広島県室内装飾事業協同組合



ご来賓とご歓談



青年部会 世良和彦部会長、部会員の皆さん



中締め：池田君美副理事長



景気よく三本締め

春夏秋冬

2025 一ひとりごと一

副理事長・(株)堀田クロス 平 裕一

本年1月、アメリカ合衆国第47代トランプ大統領が就任されました。新しい時代の訪れを予感させられる2025年の幕開けを迎える一方で、国際社会の不安定化はますます進み、日本国内では賃上げを上回る物価高や2024年問題など昨年からの課題が解消しきれていない数々の困難に直面しています。

我々内装業界を取り巻く環境においても原材料費の高騰や資材の値上げ、技能者の高齢化や若手人材の不足、後継者問題など様々な課題を抱え先行きの不透明感も未だぬぐいきれません。そうした中、近年では折からの物価高や少子高齢化による影響により建設業・住宅業界においては新設着工数の縮小は避けられない状況に追いやられ、その対策として大規模なリノベーションやリフォーム工事への転換が進み、

需要の急増が見込まれるといった僅かながら明るい兆しもうかがえます。組合としてもこうした環境の変化を敏感に捉え、時代のニーズに応じ、地域・行政、各種団体との連携をさらに図り、迅速かつ柔軟な対応で各方面に向けた技術提供・情報発信に取り組んでまいります。

内装業界の未来と発展へ向けての役割を我々組合も共に担い、与えられた立場、果たすべく責任に向き合う組合員が一人でも多く集えば、業界の課題は少しずつ解決することができるのではないのでしょうか。そうした着実な積み重ねがあつてこそ、将来の確かな成果がもたらされるものと考えます。快適かつ革新的な空間を提供し地域・社会に貢献を果たす使命を担って、新たなステージへと共に一歩踏み出しましょうか。

第1回 若手研修会の開催

理事・(有)スペース・デコ 吉岡 猛

青年部会では、業界の認知度を高めるため9年前より外部講師事業として工業高校へ出張し、壁紙貼りの体験授業を長く行ってきました。おかげ様で年々その効果が高まってきて、入職者も増えてきました。あきらめず業界のアピールを続けてきた結果だと思えます。

入職者が増えると今度は、どう教育したら良いのか？ 離職させないためにはどうしたら良いのか？ 自社では年齢差があり過ぎて若い子が気まづくないか？ など新たな問題が発生します。また若い子自身からも、同年代の交流の場があれば参加したいという声も聞こえてきました。組合としても、そういった声に答えるため、親会の事業委員会主催で今回の若手研修会を開催いたしました。日時は令和6年10月18日、参加者は各社より19歳～32歳の15名でした。開催主旨は、若い世



代同士の交流や勉強の場を設け、他社の同キャリアの人たちと比べて自分は何が勝って何が劣っているのかを知ってもらう機会とし、同年代の同キャリアで頑張っている仲間存在を知り、今後の仕事への意欲に繋げてもらうことです。

第1回である今回は、サンゲツ様のご協力のもとサンゲツ広島ショールームの見学と、セミナールームを借りて基本的なクロスや床の勉強をして

もらい、その後カーテンの基本的なことを勉強してもらいました。皆さん熱心で、3時間では時間が足りませんでした。特にカーテンのことは知らない方が多く、大変興味をもって聞いていました。班を組んで、グループワークを交えながら行いましたが初対面でも割りと和気あいあいと話している姿がとても印象的でした。私たちもそうですが、やはり同年代が話しやすいのだと感じました。こんな感じですので、当然懇親会も盛り上がり大いに楽しんでくれて、主催者側としても大変有意義な一日となりました。ぜひ2回目も開催したい

など思わせてくれると同時に、若い子たちのパワーに今後の業界の未来を感じました。本当に楽しかったです。参加してくれた皆様、ありがとうございました。



ひろしま技能フェア

理事・アサヒ装飾(株) 吉岡 誠

昨年の11月6日(水)広島産業会館で開催された「ひろしま技能フェア2024」に参加しました。今回は、恒例となっていた「壁紙を使ったファイル作り」から趣向を変えて、「壁紙でオリジナル時計を作ろう!」と題した企画で出展しました。初めての企画で白紙からのスタートです。当日参加していただく方々に、内装仕上なるものに触れていただき、且つ、ものづくりとして楽しめる方法も考えないといけない。副理事長と委員長が部材・素材・大きさ・製作方法・製作時間、何度も何個も試作を重ねました。

体験して頂いたのは、用意したクロス・CF・化粧フィルムの好きなものを選んで基板に貼り、時計キットを取り付けるといった内容です。スタッフ間での打合せや確認作業に時間を割くこともなく、暗黙の了解でそれぞれ自然にポジショニングが出来て作業の流れが実にスムーズでした。

これは日頃の組合内でのコミュニケーションが取れている証かと思います。体験者の作品を見て「クロスの柄をそう使うか?!」「その色にこの色を合わせるか?!」と自身が長く内装屋をやっていて、もしかして既に頭が固まってしまったかと思う様な斬新なアイデアがたくさん見受けられました。内装仕上作業に無限の可能性を感じられました。

老若男女、136名に体験していただきましたが、皆さん苦戦しながらも最後は笑顔で写真撮影をし



ていました。出来上がった時計を喜んで持って帰っていました。ここで製作した時計がこの人たちの生活空間の一部になるのかと思うと楽しくなりました。このような企画を通じて少しでも多くの方々に我々の業界の事を知っていただければ幸いです。

私は今回が初参加でしたが、通常業務とは違った得るものもありました。来年以降もこのフェアには出展するでしょうから、組合員の皆さん気兼ねなく参加してみてください。最後に、今回のフェアにご協力いただいた皆様、お疲れさまでした、ありがとうございました。



動画第2弾・インテリア壁装指南（下地処理編）制作中

理事・裱装匠 倉迫賢玄

私は父親のところで18歳よりクロス職人の道に入り33年が過ぎました。

近年は職人の高齢化と次世代の育成の声をよく聞きますが、我々職人からの目線でみると冷やかです。恐らくほとんどの方が子供を職人にはしたくないでしょう。将来（有給休暇、育休休暇、昇給、昇進、賞与、退職金）をかंगाえても魅力がないからですし保証もありません。育成の前に職人になることに魅力がある環境を造ることが大切であると思います。

理想を追い求めてもなかなか難しいので、今何が残せるか考えたときに技術を覚えるために必要な基礎知識が学べる動画を作成出来たらという思いで、組合教育情報委員会では、昨年に引き続き第2弾を現在制作中です。基礎が大切なのは、恐らく建築で断トツで是正が多い職種がクロス工事と思われ原因は独り立ちの基準がないからであると考えてます。本来は建物を毎日使用したり、

住む方が快適に過ごせる空間を提供できないといけません。

いつの間にか建築はただのビジネスとなっしまい、利益第一主義になっているような気がします。今回のパテ動画を見て頂けたら、お判りになりますが現在の施工単価や多くのいわゆるクロス職人ではできない内容です。でもこれからの職人はこれが当たり前として活躍していただきたいと思っています。

私は全国の仲間と仕事を通じて交流してきました。真面目にやっている方は儲からないという現実がほとんどです。この動画で何かが変わるきっかけの動画になればいいと思います。私が引退するころには笑顔の職人が育っていることを願っています。

※ 動画第1弾「インテリア壁装指南書」（施工編）は、組合HPの組合からのお知らせバックナンバー（2024.2.7付）で視聴が出来ます。

令和6年度 技能検定試験及びトリアル

今年度の技能検定試験は、実技試験が昨年8月3日、学科試験が8月25日と9月1日に実施され、10月4日に合格者発表がありました。組合関係者では14名受検され10名が合格、3名が学科のみ合格されました。合格された方は改めておめでとうございます。

今年度は昨年に比べて受検者が少し増えましたが、壁装作業は8名全員合格、プラ床は5名中1名のみ合格と明暗が分かれました。

組合では検定に先立ち、希望者に向けてトリアル

（講習会）実技を7/19～20（壁装のみ2日間通し）、トリアル学科を7/27に実施しました。実技トリアルでは、講師先生の繋がりです。京都、埼玉、しまねの各県の技能士の方々の見学があり、広島組合の運営スタッフとの情報交換も行われ、地域によってトリアルの遣り方も違いがあり、今後の参考にさせて頂く話も多々ありました。

※令和7年度技能検定試験のご案内は3月の予定です。

番号	氏名	事業所<紹介者>	科目
1	堂原 憲明	堂原装飾	壁装1級
2	児玉 翔太	(株)装匠	壁装2級
3	川岡 勇斗	インテリアカワオカ	壁装2級
4	久保 飛頼	インテリアカワオカ	壁装2級
5	井上 一馬	青山装飾(株)	壁装2級
6	重政 秀弥	(株)池田ハルク	壁装2級
7	石井 陸斗	(株)池田ハルク	壁装2級
8	日野 龍一	(株)マルケン装飾	壁装2級
9	世良 和彦	(有)セラケンサービス	プラ床1級
10	大洲 祐介	大洲(青山装飾(株))	化粧フィルム1級

※上記以外で3名は学科のみ合格



壁装・プラ床・化粧フィルム 同時開催



講師の方々の丁寧な指導

令和6年度 日装連中国ブロック会議開催

昨年9月6日にANAクラウンプラザホテル米子にて2年ぶりに中国ブロック会議が開催されました。日装連から宮本新理事長をお迎えして、中国5県単組の三役、事務局で計24名の参加で活気ある会議となりました。

宮本日装連理事長、岡田ブロック会長（広島組合理事長）の挨拶の後、ブロック会の収支決算・予算（案）を審議し可決されました。引き続き日装連報告事項として、竹内日装連副理事長（広島組合理事）より臨時総会での役員改選等の全般を、杉内日装連日ID・教育資格委員（鳥取組合理事長）より日ID社内検定のスケジュール・運営を、横田日装連総務委員（山口組合理事長）より「技能検定実態調査」の分析結果を、事務局が青年部・次世代委員会の代理報告をそれぞれ行いました。

協議事項としては、12月に予定されている中国地方整備局建政部との日装連中国ブロック会としての意見交換会の要望事項について、今年度初めて実施の日ID社内検定試験のブロック会としての検定委員選出、会場、運営の役割等について行ないました。

会議のあとは懇親会も開催され、ブロックで今年度から新しく理事長になられた岡田広島組合理事長、澤田岡山組合理事長のお二人を初めとして、初参加の方から夫々挨拶があり、和やかな中でブロック会は終了しました。



宮本外次日装連理事長



岡田展政中国ブロック会長



建設ジュニアマスター顕彰

令和6年度の国土交通省・青年優秀施工者（建設ジュニアマスター）に、青山装飾(株)上田優様が選ばれ、昨年10月18日に有楽町よみうりホールにて顕彰式典がありました。建設ジュニアマスターは将来一層の活躍が期待される青年（若手）を顕彰するために創設された制度です。当顕彰は「技術・技能が優秀である方」を称えるもので、建設現場において技術者として工事施工に10年以上直接従事している個人、自己の責任に関する無事故期間が3年以上、年齢39歳以下の要件があります。上田様は「登録内装仕上基幹技能者」「壁装技能

士1級」「化粧フィルム技能士1級」の各資格取得をされています。これからも他の模範としてご活躍を祈念いたします。

受章者コメント

この度は大変貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

家族のため、会社のため、と強く思う気持ち、そして日々の努力が評価された事を家族一同大変うれしく思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



青山装飾株式会社
上田 優

日装連ID社内検定試験実施

日装連新聞でも度々紹介されていますが、「日装連インテリアデコレーター資格」が、昨年3月に正式に社内検定資格として厚生労働大臣から認定されました。「日装連インテリアデコレーター制度」は、インテリア工事における企画設計力と施工管理能力、顧客接客力の向上を目的に、前身である「日装連内装士認定制度」として、1982年に日装連が創設した資格です。約10年の歳月をか

けて、資格制度の改変、試験内容の見直しが行われ、厚労省への申請を経て、今回の認定に至りました。学科試験（建築関連知識）、実技試験（内観パース、プレゼンボード、工事見積書などの作成）の2つで採点されます。社内検定試験初年度の今回は、学科試験は県単位で昨年10月中旬、実技試験はブロック単位で11/27に実施されました。



広島組合受検者 5名 合格者3名（実技、学科共）

番号	氏名	事業所
1	枝 廣 彩	(株)マルケン装飾
2	岡 田 展 政	(株)マルケン装飾
3	池 田 君 美	MA-DO(株)



国土交通省中国地方整備局建政部との意見交換会

理事・(株)エムズワン 蓑田 浩 士

昨年12月10日に国土交通省中国地方整備局建政部様と日装連中国ブロック会との意見交換会を実施させて頂きました。この意見交換会は毎年夏に実施される建設産業専門団体中国地区連合会と中国地方整備局様との意見交換会の団体個別版で日装連中国ブロック会としては初めてです。中国地方整備局からは田宮建政部長、原田建設産業調整官ほか6名、日装連中国ブロック会からは岡田会長（広島組合）、横田副会長（山口組合）、三島監事（島根組合）ほか4名で意見交換会に臨みました。

各代表者の挨拶の後、中国地方整備局様から「第三次・担い手3法」等の情報提供があり、中国ブロック会からは、毎秋実施の中国ブロック会議や日装連インテリアデコレーター社内検定のブロックでの運営など取組事項の紹介をしました。意見交換会では事前に提出させて頂いた要望事項「法定福利費の適正な反映」「資材価格高騰分の契約価格への転嫁・適正な価格での取引」「年度末の工事の回避、工期の平準化」について、真摯に現状を汲み取って頂きました。また他省庁の制度ではありますが、中小企業むけの「団体協約」や「官

公需適格組合制度」の活用による適正な価格での取引を提案させて頂きました。また中国地方整備局様から、建設Gメンによる労務費の中身の確認など取引の適正化を調査する活動を強化して行きたいとお話がありました。

意見交換会を迎えるにあたり、組合の広報渉外委員会で事前に要望事項の意見を出し合って、そこから絞り込んでいくという方法で纏めた上で決定していきましたが、今回改めて認識が出来ましたのは、その時出し合った中の多くがすでに国土交通省のほうで着手、検討されているということです。また、建設Gメンについては適正な請負金額・労務費の確保、適正な価格転嫁・工期の設定・下請代金の支払いについて実地調査を行い、改善指導を行っていくということで、具体的な効果が期待できると感じました。最後になりましたが、我々内装仕上工事業団体が直接所轄の行政機関に現状や問題点を共有して頂き、また課題解決に向けた取り組みを示して頂ける大変貴重な時間を設けて頂いた事に感謝をし、可能であればこういう機会を継続させて頂きたいと思いました。



登録内装仕上基幹技能者講習会

登録内装仕上基幹技能者講習の追加会場として、昨年11月27日から29日の3日間、広島で講習会が開催されて、別紙6名の方が新たに資格取得をされました。建設キャリアアップシステムでも、当資格は最高位のレベル4（ゴールド）に認定されており、今後益々有効な資格として評価されます。現在、広島組合では63名の方が登録済みです。

登録内装仕上基幹技能者の受講要件は実務経験10年以上、職長経験3年以上の方で、下記①か②の資格取得者

- ① 1級内装仕上施工技能士
(表装、プラ床、木質系床、化粧フィルム)
- ② 建築施工管理技士1級か2級

番号	氏名	事業所
1	室直昭	(株)日本パーカーライジング広島工場
2	平田晶子	平田産業(株)
3	村上和哉	(有)村上装飾
4	平賀慶太	竹内装飾(株)
5	田浦慶太	(有)インテリアタウラ
6	佐々木健	(株)インテリアヒロ

賛助会員ご紹介

(株)ニッター 広島営業所

塚本尚之

平素は格別のご高配を賜り誠に有難うございます。また弊社製品をご愛顧賜り心より厚く御礼申し上げます。

この度、広島県室内装飾事業協同組合に賛助会員として入会させて頂くことになりました株式会社ニッター広島営業所の塚本尚之です。どうぞ宜しくお願い致します。弊社広島営業所は約10年前に一度閉所して以降、大阪営業所、九州営業所と遠方より中国地方を担当させて頂いておりました。しかしながら、中国地方の皆さまへニッターをより身近に感じて頂くために昨年8月広島市西区に所員1名ではございますが再び開所致しました。そして、ニッターの主力製品であるパテ(ジョイントコンパウンド)は広島県と同じ瀬戸内地方となります香川県にて製造しております。また、その主原料である石膏も四国内から仕入れており品質には自信を持ってご紹介させて頂いております。

多々ある製品の中でもおすすめ商品として「ニューライトV(下塗)」、「DRY-V(ドライブ)」をご紹介させていただきます。ニューライ

トVは弊社製品の標準的な下塗りパテより1.7倍の施工面積と非常に伸びが良く、ケレン性にも優れた商品となっております。また、DRY-Vは昨年9月に業界初となる自然乾燥型下塗り用パテとしてフラットボックスや野丁場でも活躍する練り置き可能な商品となっております。既にご利用頂いた方もいらっしゃるかもしれませんが是非一度お試しください。

弊社製品には皆さまからの貴重なご意見やご要望から開発される事も多くございます。組合などでお会いした際には様々なご助言をいただきたいと存じます。私自身も広島市出身という事もありまして今後、組合活動を通じて地元広島の室内装飾業界の発展に貢献できるよう、また組合員の皆様のお役に立てるよう、日々努力してまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



青年部会体験授業報告

青年部会副部長・(株)中山装飾 渡辺和也

昨年の高校への出前体験授業ですが、例年通り4校を対象に実施しました。

9月6日・13日は福山工業高校 9月18日は総合技術高校、10月3日は宮島工業高校、11月12日・19日は府中東高校というスケジュールでした。各高校では、共通で検定台へのクロス貼りを行っていますが、以外にも福山工業高校ではカーテン生地を使ったカルトナージュのワークショップ、総合技術高校ではクロス材を使ったファイル作り、宮島工業高校では作成した台へのフローリング貼り、府中東高校に関しては、実際の校舎の教室に壁紙貼りと床にタイルカーペットを貼るという授業を行いました。

授業の対象となる生徒さんに関しては、各高校とも2年生です。楽しんで作業をしている生徒さんもいれば、作業に集中をして取り組んでいる生徒さんといろいろでした。参加した部会員も生徒さんに教える事によって、自分自身が気づいた点が多々あり、仕事に繋がる事が多いように感じました。私は4校とも参加させて頂きましたが、生徒の皆さんはいずれも真剣にまじめに取り組んでいる印象を持ちました。授業をするにあたって、カッターナイフや電動工具を使っただけの授業もあるので、怪我をしないようにゆっくりと作業していました。中には、失敗をする生徒さんもありましたが、初めからできるものでもないですし、新築の現場で作業している職人も失敗はすると伝えると、肩の荷がおりて積極的になって作業しているように思いました。

9月13日の福山工業高校の授業に関しては、北

海道組合の日装連次世代委員の渡部さんが、遠路はるばる視察に来られて、どのような授業展開で、どのように生徒さんに教えているのかを北海道に持ち帰り、北海道の工業高校に対して体験授業を今後実施されたいとの事でした。

非常に熱意のある方だと思ひ、このような動きが全国的に活発化していけば、内装業界に良い風が吹くと感じました。

各校でクロス・フローリングを知らない生徒さんも多く内装工事についての事や、就職する事についての不安等の相談を多く受けました。体験授業の目的は、業界について興味を持ってもらう事が一番ですが、先に社会に出た先輩として我々自身がしっかり見られている事に、毎回ですが気づかされ良い刺激になっています。

今年も4校実施の予定ですが、部会員全員が気を引き締め、授業をして行きたいと思っております。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



編集後記

広報・渉外委員長 蓑田浩士

今号の広装協NEWSは盛り沢山の内容で発行する事が出来ました。組合の理事の皆様、青年部会の皆様、各委員会の皆様をはじめ多くの方々それぞれの活動にご尽力されたおかげだと思ひます。今まで継続されてきた活動と共に新たな活動についてもご紹介できた事はとても意義のある事だと思ひます。

編集にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

組合からのお知らせ

令和7年通常総会

日時：令和7年5月30日（金）

午後4時00分より開催

会場：リーガロイヤルホテル広島

広島市中区基町6-78

※正式なご案内は、総会議案書と一緒に5月上旬送付予定です。（正組合員のみ）